

整理番号	HT27138	分野	医歯薬学	キーワード:創薬
------	---------	----	------	----------

## 千葉県がんセンター研究所

がんの正体ってなんだろう、そして治療薬はどうやって作るんだろう。

先生(代表者)	永瀬 浩喜(ながせ ひろき)・千葉県がんセンター研究所・所長	
自己紹介	小児外科医を志しましたが、難治性のがん患児を治療できない現実に直面し、何とか治療法が見つけれないかと基礎研究の道に入りました。全く新しいがん治療薬を開発するため、海外や企業で遺伝学・ゲノム・薬剤開発等多彩な研究を研鑽しました。まず、成人のがんで治療薬を開発し、将来的に小児がんへ応用したいと日夜研究に励んでいます。	
開催日時・主な募集対象	平成27年 8月 4日(火)	(対象) 中学生・高校生 (人数) 24名
集合場所・時間	千葉県がんセンター事務研修棟中会議室	(集合時間) 午前9時30分
開催会場(集合場所)	千葉県がんセンター研究所 住所:〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2 アクセスマップ: <a href="http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kotsu.html">http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kotsu.html</a>	
<b>内 容</b>		
本プログラムにおいては、口内粘膜より自らのDNAを採取し、がんに関連する遺伝子を増幅して視覚的にDNAを観察するとともに、がんとはこの遺伝子DNAに入った傷に起因すること、およびがん治療薬の開発研究の実際を理解し考察させることを目的とする。プログラムの最初に、講義「がん遺伝子」を設定し、がんは遺伝子の病気であることの理解を計る。そして、講義「がん遺伝子」では、遺伝性のがんの存在について紹介する。最後に、講義「新しい治療薬の開発」では、科研費で実施されている「新規抗がん剤の開発研究」の発想および現状について紹介する。実験(1)「口内粘膜からDNAをとろう」では、粘膜細胞からのDNAの抽出を体験することによって、その原理の理解を計る。実験(2)「がん遺伝子を増やそう」では、PCR法を用いて、肉眼では見えない特定のがん関連遺伝子を増幅する。実験(3)「遺伝子を見よう」では、実験(2)で増やした遺伝子DNAをエチジウムブロマイドで染色し、DNAを観察する。		
<b>スケジュール</b>		<b>持ち物</b>
9:30-10:00 受付(千葉県がんセンター事務研修棟1階中会議室)		筆記用具 飲料水
10:00-10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費説明)		
10:20-10:40 講義「がん遺伝子」		
10:50-11:10 千葉県がんセンター研究所見学		
11:20-11:40 講義「がん遺伝子」		
		<b>特記事項</b>

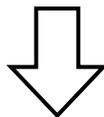
11:50-12:50 昼食、休憩	実験に適した服装をお願いいたします。女子のスカートはご遠慮ください。サンダルもご遠慮ください。こまめに水分を摂取するようにお願いします。気分がすぐれない時にはお知らせください
12:50-13:50 実験「口内粘膜から DNA をとろう」	
12:50-14:20 英会話スクール	
14:30-15:30 実験「がん関連遺伝子を増やそう」	
15:30-16:00 クッキータイム	
16:00-16:20 講義「新しい治療薬の開発」	
16:20-17:45 実験「遺伝子を見よう」、実験結果の議論	
17:45-18:00 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)、 現地解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	千葉県がんセンター研究所・尾崎 俊文
住所：	〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL 番号：	043-264-5431
FAX 番号：	043-265-4459
E-mail：	tozaki@chiba-cc.jp
申込締切日：	平成 27 年 7 月 10 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
永瀬 浩喜	平成 26 - 28 年	基盤 B - 般	26290060	ドライバーメチル化特異的アルキル化剤開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。